



お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

諫早大水害の経験から学ぶ - 助け合いの大切さ -

66年前、諫早で起きた大水害。多くの家屋が壊れ流され、人々の命が失われました。この水害に遭った経験を通して、古賀文朗さんから今、私たちに考えて欲しいことを伝えていただきました。



(諫早市提供)



いつ起こるかわからない災害 ~ 人と人のつながりも備えの一つ ~

昭和32年、当時、高校3年生だった古賀さん。両親と兄弟6人で八坂町に暮らしていました。数日前から降り続いていた雨が7月24日の夜には豪雨に。本明川の水位も徐々に上昇し、夜中には、1階の天井まで水位が上がリ、全員2階へ逃げ難を逃れました。一夜明けて、周囲を見渡すと家が壊れ流され、がれきが散乱。街は一変していました。幸いにも親族ではだれも犠牲になりませんでした。前日に一緒に映画を見に行った親友が永昌町で犠牲になったことを聞いた時は、とても悔やまれる思いでした。

このような大きな災害に遭ったにもかかわらず、有難いことにその後の生活は多くの方々の支援に支えられ、特に食料は困ることはありませんでした。

自宅1階は泥で埋まっていましたが、親戚や親友、縁のあった人などが泥出しに駆けつけて来てくれました。「何もできないけど、言葉だけでも」と言ってくれた方の思いやりに、心が落ち着くこともありました。

当時は、「災害ボランティア」という言葉はありません。しかし、手助けに来てくれた皆が「かせるのは当たり前」という気持ちで駆けつけて来てくれました。このことは、困った時はお互いに支え合うことの大切さを教えられたと思います。

いつ起こるかわからない災害。水や食料などの「備えが大事」と言いますが、その中に「手助けに来てくれる人を日頃から作っておくこと」。これも備えの一つとして大切に備えて欲しいと思います。



古賀 文朗 さん (八坂町)

※2 ページからは、復旧・復興において重要な役割を担う「災害ボランティア」について特集します。

お知らせ あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください!

■応募方法：右のQRコードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送ください。採用された方にはクオカード 500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストは 龍田 慎之介さん (12 才)、文字は 北浦 由彩さん (7 才) に書いていただきました。ありがとうございます。



被災地にて、復旧・復興活動を行うボランティアのことを災害ボランティアといいます。活動内容は、がれきの撤去や泥だし、室内清掃や救済物資の仕分け、炊き出しや被災者の心のケアなど多岐にわたります。

実際に活動したお二人の経験談をご紹介します。



経験談
1

避難所での炊き出し、土砂の
取り除き ～鳥越 高夫さん～

平成28年熊本地震が発生した時に、避難所で炊き出しを行いました。当時は、地震によって通行止め的高速道路も多く一般道を使い、朝の活動に間に合うよう夜8時に諫早を出発。現地にはその日の夜中に到着し、一晩避難所に泊まり、活動を始めました。小学校に避難している300人に豚汁と鶏飯を作り、振舞いました。



大分県日田市での令和2年7月豪雨では、災害ボランティアセンターのfacebookを見てボランティアを募集していることを知り、有志5人で向かいました。個人宅に流入した土砂を取り除く作業を日帰りで行いました。

活動を通して、間近で喜んでる姿を見れることや、誰かの助けになっていることが実感でき、身体的には大変ですがやりがいがあります。

👉 経験者からのアドバイス

被災地は混乱しているため、災害ボランティア自身のことは被災地に頼ることがないように準備して向かうことが大切です。

経験談
2

遺留品の搜索、
物資の支援の提供
～NPO法人有明支縁会
理事長 草野紀視子さん～



有明支縁会

熊本大震災をきっかけにNPO法人を立ち上げ災害支援の活動を始めました。普段の生活を笑顔で送れるようになるまで様々な活動を行っています。

活動する中で大切にしていることは、被災した方々の心を和ませられる支援をすること。雲仙市にて発生した令和3年8月豪雨では、遺族とともに遺留品の搜索を行いました。大量の土砂の中からたくさんの遺留品を見つけることができ、時折涙を流されながら「今回見つかった思い出の品を胸に一步ずつ前に進んでいけそう」と話してくれました。

また、石川県での令和4年8月豪雨の際は、被災者が寒い思いをしないようにと、10月にファンヒーター類40台を運びました。家にある暖房器具が使えなくなった方もおり、少し肌寒くなった季節であったため、大変助かったとの声が届きました。



👉 経験者からのアドバイス

困りごとは、災害の種類、生活環境、被災から経過した時間、人によって様々です。活動を始める前に、被災地の困りごとや求めている支援をきちんと把握することが大切です。



災害ボランティアセンターって何？

災害ボランティアセンターは、「被災者の力になりたい」ボランティアを募集し、「手助けしてほしい」被災者をつなぐ窓口になります。ここでは、まず被災者の困りごとを把握したうえで、ボランティアを受け入れ、ボランティアが希望する活動を調整し、派遣を行います。

5月21日(日)に行われた令和5年度諫早市総合防災訓練の中で、諫早市社会福祉協議会は、災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。

訓練にあたり、日本防災士会長崎県支部、諫早市内6ライオンズクラブ、諫早青年会議所、諫早手話サークルのみなさんにご協力いただきました。



活動の流れや注意事項の説明



募集している活動内容にボランティアを調整

災害ボランティアとして活動する際に大切なことは？



①災害ボランティアの受け入れ状況を確認しましょう。

全国のボランティア活動及び災害ボランティアセンターの設置に関する情報は、全国社会福祉協議会のホームページにて確認できます。募集範囲を、被災地の市町村在住の方などに限定する場合がありますので、ご注意ください。

②被災地に負担をかけない準備が大切です。

服装や持ち物、食事や宿泊先を自分で確保していくことが基本です。被災地に負担をかけることがないように周知な準備を心がけましょう。

③活動に行く前にボランティア活動保険に加入しましょう。

社会福祉協議会ではボランティア活動中の事故に備えた保険を取り扱っています。被災地に負担をかけないように出発地の社会福祉協議会で加入しましょう。

上記のより詳しい情報は、
「全社協 被災地支援・災害ボランティア情報」
に掲載されていますのでご覧ください。

QRコードは
こちら↓



災害ボランティアしたいけど、どうしたらいいの？



諫早市社会福祉協議会では、災害ボランティアとして活動したい、また活動を学びたいという方を対象に事前登録を行っています。諫早市で災害ボランティアを募集する際や、研修会を企画した時などご案内をさせていただきますので、ぜひご登録ください。

登録は、掲載しているQRコードを読み取り、登録書をご記入の上、本会までご提出いただくことで可能です。

【問い合わせ先】 地域支援課 TEL : 0957-24-5100

登録書のダウンロードは
こちらから→



水難者慰霊祭

～お参りください～

諫早市社会福祉協議会では、昭和32年諫早大水害で犠牲になられた方を慰霊するため祭壇を設置します。ご自由にご参拝ください。

【期 日】 令和5年7月25日(火)

【時 間】 15時～20時まで

【場 所】 高城公園内観音像前



ご寄付ありがとうございました

次の皆さまから、心温まるご寄付をいただきました。
ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使用させていただきます。

【お詫び】

「かんしゃ」5月号におきまして、ご寄付を頂いた方の氏名記載漏れがありました。深くお詫び申し上げます。

令和5年3月1日～令和5年3月31日受付分

物品寄附 ▶ 中溝 弘 様 (西里町)

ボランティアに挑戦してみよう!

～サマーボランティアキャンペーン2023～

たくさんのプログラムを用意しています。今年の夏、ボランティアに挑戦してみませんか。
みなさんのご参加をお待ちしております。

【期 間】 7月1日～9月30日

【内 容】 施設利用者とのふれあい、子ども食堂のお手伝い、清掃活動など

長崎県社協 サマーボランティアキャンペーン2023

検索

あなたのしあわせは？

「大好きなおそばを食べているとき」
龍田 慎之介 さん (12才)

※地区社協とは、おおむね小学校区を単位とし、地域やその住民が抱えている課題を発見し地域でその解決に向けて取り組んでいくための住民組織です。

地区社協情報便

第3回
〈長田地区社会福祉協議会〉

だれもがふれあい
支え合うまちながた

長田地域ではコロナ禍で自粛をしていたイベントが、春の息吹と共に動き出しました。

「楠公祭（畳破り）」を皮切りに、「少年剣道武道始め大会」や「長田駅伝大会」など開催され、各関係者やボランティアの方々、及び地域住民の団結力で3年間の空白を感じさせない盛り上がりとなりました。

今後も皆さんの協力を得て、「さなぼり祭り」、「ながた夏祭り」、「御手水観音大祭」など多くの催しが予定されています。

今年11月には、長田小学校創立150周年の記念行事が計画され、育友会の皆さんは昨年からの「地域と共に歩き続けて150年」、「はばたけ未来、長田っ子」を掲げ、地域でのイベントPRを行っています。

また、各種団体やボランティア有志によるスポーツ団体の協力もあり、地域ぐるみで子ども達の健全育成にも力を入れており、まさに「支え合うまちながた」です。

令和3年に、長田中学校がトリプル

諫早市社会福祉協議会だより **かんしゃ**

- 執筆
長田地区社会福祉協議会 広報部
- 会長
井手 博樹
- 令和5年度取り組む事業
 - ・ふれあいいいきサロン（4箇所）
 - ・子育てサロン（1箇所）
 - ・ひとり暮らし高齢者の集い
 - ・ふれあい食事サービス
 - ・研修会
 - ・広報紙発行
 - ・「地区社協・地域福祉活動計画」の推進

ボランティア（ペットボトルキャップやプルタブ、古新聞などの回収、分別）を認められ県教育委員会より「善行生徒」として表彰されました。

このボランティアは、地域協力もあり、プルタブ回収量が市で1位だったとのこと。生徒会からは「今後も地域の協力を得てボランティア活動を伝統化したい」と、うれしい言葉もあり活動を継続しております。

このように各年代層の様々な活動は、ふれあいを生み、絆を深め、刺激と感動を与えてくれます。これは、長田地域や町づくりへの活性化となり、他の各種活動にも好影響を与え貢献しているものと考えております。

長田地区社会福祉協議会としても、「だれもが支え合うまちながた」をこれからも推進してまいります。



楠公祭（畳破り）



長田地区少年剣道武道始め大会



長田中学校「善行生徒」表彰



長田小学校創立150周年記念 育友会



第32回長田駅伝

7月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

一般相談	開設日	月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
	開設時間	午前10時～午後3時
	場所	ふれあい福祉相談センター （諫早市社会福祉会館内） 【専用電話】23-7022

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

無料専門相談	開設日	7月28日（金） 弁護士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 【電話】24-5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。



編集発行 社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会
〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>
（諫早市社会福祉協議会で検索ください）

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報誌に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。